

みずほCustomer Desk Report 2023/03/08 号 (As of 2023/03/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	136.13
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	135.99	1.0685	145.32	1.2023	0.6730
SYD-NY High	137.19	1.0694	145.42	1.2065	0.6748
SYD-NY Low	135.56	1.0546	144.57	1.1822	0.6580
NY 5:00 PM	137.16	1.0548	144.65	1.1827	0.6585
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,856.46	▲ 574.98	日本2年債	▲0.0500%	▲0.0100%
NASDAQ	11,530.33	▲ 145.40	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3,986.37	▲ 62.05	米国2年債	5.0138%	0.1287%
日経平均	28,309.16	71.38	米国5年債	4.3132%	0.0595%
TOPIX	2,044.98	8.49	米国10年債	3.9676%	0.0059%
シカゴ日経先物	28,210.00	5.00	独10年債	2.6880%	▲0.0350%
ロンドンFT	7,919.48	▲ 10.31	英10年債	3.8185%	▲0.0475%
DAX	15,559.53	▲ 94.05	豪10年債	3.7430%	▲0.0280%
ハンセン指数	20,534.48	▲ 68.71	USDJPY 1M Vol	12.42%	0.16%
上海総合	3,285.10	▲ 36.93	USDJPY 3M Vol	11.66%	0.01%
NY金	1,820.00	▲ 34.60	USDJPY 6M Vol	11.09%	0.04%
WTI	77.58	▲ 2.88	USDJPY 1M 25RR	▲1.70%	Yen Call Over
CRB指数	269.58	▲ 4.01	EURJPY 3M Vol	10.75%	0.02%
ドルインデックス	105.62	1.27	EURJPY 6M Vol	10.67%	0.03%

東京	東京時間のドル円は135.99レベルでオープン。NY時間にパウエルFRB議長の議会証言を控えていることもあって136円台を挟み34銭と狭い値幅での推移となり135.92レベルで海外時間に渡った。RBAが政策金利を25bp利上げと発表したものの市場予想通りだったこともありドル円相場への影響は限定的だった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、135.92レベルでオープン。東京時間に引き続き、パウエルFRB議長の議会証言を午後に控えている不透明感から方向感なく推移する。一時135.56まで売られるも、136円前後でもみ合った後に136.17レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は136.17レベルでオープン。朝方はオープンレベルでの推移がしばらく続くが、10時になりパウエル議長の議会証言原稿が発表され、「必要であれば利上げペース加速の用意」「ピークの金利水準は前の想定よりも高くなる可能性」など効派と取れる内容となり、先物に見る今月22日のFOMCでの50bpの利上げの織り込みが100%となる中、136.91まで上昇する。午後に入り、パウエル議長の「次回FOMCまでの経済指標が重要」との発言が伝わったがドル円の反応は限定的となるが、終盤に掛けて再びドル買いが継続したことから137.19まで戻し、137.16レベルでクローズした。一方、ユーロドルもパウエル議長の議会証言を控え狭いレンジでの推移が続き、1.0670レベルでNYオープン。朝方は議会証言を控え小幅な推移が続くが、議会原稿が公表されると市場がドル買いで反応したことからユーロドルは1.0587まで下落する。その後上昇していた米長期金利が一旦落ち着いたものの、ドル買いは弱まらず、ユーロドルは上値を重くし、1.0546まで下落し、1.0548レベルでクローズした。

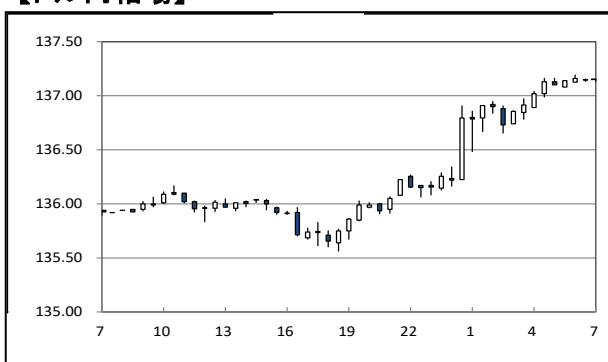
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月7日	09:30	豪 貿易収支	1月 A\$11688m	A\$12250m
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	7-Mar 3.60%	3.60%
	16:00	独 製造業受注(前月比)	1月 1.0%	-0.7%
3月8日	00:00	米 パウエルFRB議長 講演	「必要であれば利上げペース加速の用意」	
	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	1月 -0.4%	-0.4%
	00:00	米 卸売売上高(前月比)	1月 1.0%	-0.5%

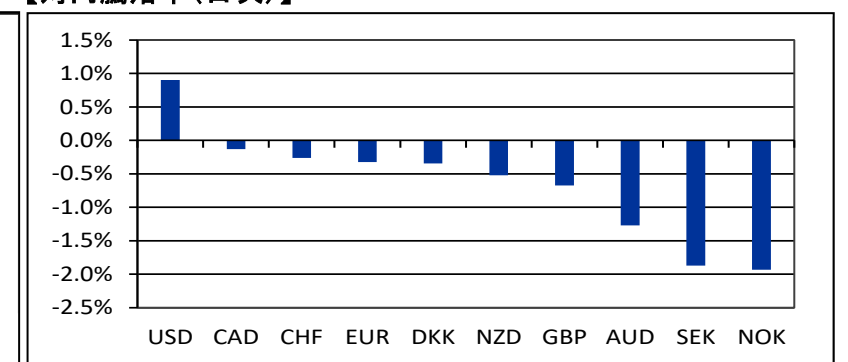
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月8日	16:00	独 小売売上高(前月比)	1月 2.3%	-4.9%
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	1月 1.4%	-3.1%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	4Q 0.0%/1.9%	0.1%/1.9%
	22:15	米 ADP雇用統計	2月 200k	106k
	22:30	米 貿易収支	1月 -\$68.7b	-\$67.4b
3月9日	00:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.50-138.00	1.0450-1.0600	144.00-145.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は137円台まで上昇。東京時間は135.99でオープン後、ロンドン時間にかけて136前後で方向感なく推移。米国時間、パウエル議長の議会証言原稿が発表され、「必要であれば利上げペース加速の用意がある」、「最新の経済データは強く、金利の最終到達水準が従来予想を上回る可能性が高い」などタカ派的な内容が確認されると、米金利上昇につれてドル円は136.91まで急伸。その後もドル買い優勢となり、137.16でクローズした。本日のドル円は引き続き底堅い展開を予想する。昨日の議会証言を経て米金利は大きく上昇し、今月のFOMCでの50bpの利上げ織り込が60%ほどまで進んでいる。金曜日の雇用統計も控えているためやや動きにくい点もあるが、昨日に引き続きドル買い優勢の展開となるだろう。200日移動平均線の137.44を上抜ければ、138円に迫る展開も想定したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・松木